



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和2年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



いなば こうじ  
**稲葉 晃司** 議員  
(蒼天)

## (仮称)郷土史博物館構想に新たな発想を！

**問** 「大石寺をお願いして旧富士美術館を活用させていただくことにより、高額な建設費をかけないで大石寺周辺を観光拠点にできるはず。」といった記事が岳南朝日新聞に掲載されていた。コロナ禍で状況が激変する中、先の9月定例会で市長は(仮称)郷土史博物館構想に関する質問に対し「慎重に取り組んでいく」と答弁されたが、改めて(仮称)郷土史博物館構想をどのように考えているのか。

**市長** 慎重に取り組んでいく旨の発言は、基本構想の策定に取り組むに当たり、重要な施設であると考えているからこそ、コロナ禍により状況が様々に変化していく中で、拙速に事を進め、市民の意見を取り入れる機会が得られず、十分

な検討をすることもなく策定することがないようにしたいという趣旨の発言である。その必要性、重要性についての思いは何ら変わっていない。

**問** 大石寺周辺を観光拠点の一つにという考え方についてその可能性を伺う。

**部長** 旧富士美術館は所有者である大石寺が宝物殿として使用している。市としてはその宗教的な用途を排してまで、観光拠点として活用させていただく考えはない。大石寺から観光資源としての活用の要望があれば検討していきたい。



むらせ ひとし  
**村瀬 旬** 議員  
(至誠)

## 企業版ふるさと納税をいち早く積極的に行うことについて

**問** ふるさと納税は運営費にも利用できるか。

**部長** 企業版ふるさと納税制度は地方創生、強化を図るため、平成28年度から令和元年度までの特例措置だったが、令和2年度の税制改正で制度が拡充され、特例制度の延長や対象事業等、企業側にはさらに支援しやすく、自治体側にも幅広い事業に寄附をいただくことができるようになった。利用については、制約がないので運営費に利用されることもあると思われる。

**問** ふるさと納税を前向きに行う考えはあるか。

**市長** 社会的課題の解決への取組が企業の社会的信用を高めることになり、さらに持続可能なまちづくりや地域と連携した事業の実施はSDGsにも通じ、企業、自治体双方にメリット

が大きい制度である。市でも令和2年度から企業版ふるさと納税の対象となる事業が大幅に拡充されるので、地方創生関連事業との関連性などの研究を含め、戦略的に対応を検討していく。

## 市長の教育勅語観に対して同感の立場からについて

**問** 市長の教育勅語観をお聞かせ願いたい。

**市長** 教育勅語には、優しさ思いやり等今の世においても大事だと感じる事が書かれている。親孝行をする、きょうだい仲良く、夫婦仲良く、友達を大事にする等、人としてごく当たり前でありながら、私たちが忘れかけていることなどが凝縮されていると思っている。日本人として教育勅語をしっかりと学んでいくべきと思う。

**問** 教育現場においても大変重要なことであり、子どもたちにどのような教育をめざしているか。

**教育長** 道徳教育において、人との関わり、集団や社会との関わり等の視点とともに、感謝、家族愛、友情・信頼等の指導を行っている。